

〔源平盛衰記三十四〕明雲八條宮人々被討事

主上〇後鳥羽ノ御沙汰シ進スル人モナシ、

〔百練抄十一〕御門承元四年八月廿日主上行幸春日社上皇〇後鳥羽有御見物

〔太平記九〕主上上皇御沈落事

何クヨリ射ル共知ラヌ流矢主上〇光嚴ノ左ノ御脰ニ立ニケリ、

〔太平記十七〕還幸供奉人々被禁殺事

主上〇後醍醐兼テヨリ御用意有ケル似セ物ヲ取易テ内侍ノ方ヘズ渡サレケル、

〔東寺修行日記〕嘉吉三年九月廿三日子刻大内焼亡〇中主聖様花園ハ近衛殿出御成、

〔小右記〕長和四年四月七日丙辰今日中宮女親王三歲著袴〇中主聖上一〇出御〇下

〔類聚名義抄一〕上君

〔日本後紀十二〕延暦廿三年十月甲辰行幸和泉國其夕至難波行宮 乙巳上御舟泛江、

〔日本後紀十三〕大同元年三月丙戌上謂公卿曰〇中略報曰〇下

〔獨斷上〕上者尊位所在也大史令司馬遷記事當言帝則依違但言上不敢渎瀆言尊號尊王之義也

〔榮花物語一〕今の上〇上村の御心ばへあたまほしくあるべき限りおはしましけり、

〔紫式部日記〕殿〇藤原道長若宮〇後一條いだし奉り給ひて御前にいで奉り給ふ〇一條いだしうつし奉らせ給ふ、

〔紫式部日記〕う〇ち〇の〇う〇へ〇の〇源氏物語人によませ給ひつゝきこしめしける、

〔増鏡十一〕今日の日隆乾元元年六月十六日龜山殿へ行幸あり〇中略法皇〇後宇多より内〇二條〇に聞えさせ給〇中略御返し内〇の〇う〇へ〇下

〔太平記七〕先帝船上臨幸事

上様

上